

マリアナ海溝から得られた世界最深記録の多毛類

○自見直人^{1,2}・滋野修一²・多米晃裕²・木元克典²・中村由里子²・土田真二²・藤原義弘^{1,2}

¹広島大学大学院生物圏科学研究科；²海洋研究開発機構

2002 年に行われたマリアナ海溝における調査航海(KR02-13, KAIKO#0273-0277)でウロコムシ科の多毛類が採集された。採集地点はチャレンジャー海淵の水深 10,898m であった。これまで知られている多毛類の最深記録は *Poecilochaetus vityazi* のトンガ海溝, 10,687m であり (Paterson et al., 2009), 今回採集された多毛類は現状世界で最も深い所から採集されたものとなる。

本種はトンガ海溝, 9,735-9,875m から記載されている *Bathylevensteina* 属に似るが, 体節数, 背鱗数, ventral keel の有無, 前口葉の形状等の形質から新属新種であると判断し, 現在記載論文を準備中である。また, 底を這う様子とは別に浮遊している様子も観察されている。本種の剛毛は近縁のウロコムシ科と比較すると著しく伸長しており, 浮遊に適応した形態であると考えられる。さらに, X線マイクロCTによる筋肉、脳、消化管などの内部構造の組織学的同定や3D立体構築、および樹脂包埋切片による顕微構造の観察を行い、超深海に生息する動物の適応構造の同定を試みたので、合わせて紹介する。